

平成 6 年 9 月 招 集

第 3 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

館 山 市 議 会

目 次

◎第1号（9月9日）

開 会	3
議長の報告	3
議案の配付	3
会議録署名議員の指名	4
会期の決定	4
会議日程の決定	4
議案第31号～議案第39号、認定第1号～認定第8号 (提案理由の説明)	5
延 会	11
本日の会議に付した事件	11

◎第2号（9月12日）

開 議	14
行政一般通告質問	14
永井 龍平君の質問、当局の応答	14
鈴木 順子君の質問、当局の応答	28
神田 守隆君の質問、当局の応答	45
島田 保君の質問、当局の応答	63
散 会	80
本日の会議に付した事件	81

◎第3号（9月16日）

開 議	84
議案第31号	84
委員会付託の省略	85
採決	85

議案第 32 号～議案第 36 号	85
神田 守隆君の質疑、当局の応答	86
委員会付託	99
議案第 37 号～議案第 39 号	99
神田 守隆君の質疑、当局の応答	99
委員会付託	107
請願第 20 号	107
委員会付託	108
議長の報告	108
請願書の取り下げについて（請願第 19 号）	108
延 会	108
本日の会議に付した事件	109

◎第 4 号（9 月 19 日）

開 議	112
認定第 1 号～認定第 8 号	112
神田 守隆君の質疑、当局の応答	113
山中金治郎君の質疑	134
決算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任	135
延 会	136
本日の会議に付した事件	136

◎第 5 号（9 月 28 日）

開 議	139
議案の配付	139
議案第 36 号、議案第 37 号	139
総務委員会委員長報告	139
採決	141
議案第 32 号～議案第 35 号、議案第 38 号	141

文教民生委員会委員長報告	1 4 2
採決	1 4 3
議案第 3 9 号	1 4 4
建設経済委員会委員長報告	1 4 4
採決	1 4 5
請願第 2 0 号	1 4 6
文教民生委員会委員長報告	1 4 6
神田 守隆君の質疑	1 4 7
採決	1 4 7
継続審査について（請願第 1 8 号）	1 4 8
議長の報告	1 4 8
認定第 1 号～認定第 8 号	1 4 8
決算審査特別委員会委員長報告	1 4 8
採決	1 5 3
議案第 4 0 号	1 5 4
説明	1 5 4
委員会付託の省略	1 5 5
採決	1 5 5
市長のあいさつ	1 5 5
閉 会	1 5 6
本日の会議に付した事件	1 5 6

第 3 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

(第 1 号)

1 平成6年9月9日(金曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 23名

1 番 秋山 光章
3 番 島田 保
5 番 宮沢 治海
7 番 鈴木 順子
9 番 脇田 安保
12 番 岩村 勝弘
15 番 山中金治郎
18 番 日下 君敏
20 番 生稻 陞
22 番 福原 勤
26 番 辻田 実
28 番 飯田 義男

2 番 増田 基彦
4 番 斉藤 実
6 番 植木 馨
8 番 永井 龍平
11 番 山崎 雅己
13 番 榎本 春光
17 番 鈴木 忠夫
19 番 川名 正二
21 番 神田 守隆
23 番 石井 昌治
27 番 横溝 功

1 欠席議員 3名

10 番 庄司二三男
16 番 鈴木 勝美

14 番 小宮 利夫

1 出席説明員

市長 庄司 厚
収入役 川上 義雄
総務部長 神子 純一
経済部長 小沼 晃
水道課長 谷貝 実
教育委員会 会長 高橋 博夫
選挙管理委員会 平嶋 倫治
監事 田村 哲也

助役 小幡 清之
市長公室長 永野 修
民生部長 渡辺 富雄
建設部長 三平 孝司
教育委員会 会長 滝口 喜雄
選挙管理委員会 加藤 利
監査委員 山田 教和
農業委員会 会長 斉藤 明

農 業 委 員 会
事 務 局 長 佐久間 宏

1 出席事務局職員

事 務 局 長 兵藤 恭一

事 務 局 長 補 佐 鈴木 哲

書 記 四ノ宮 朗

書 記 安田 仁一

書 記 小山 真

書 記 松浮 郁夏

1 議事日程（第1号）

平成6年9月9日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

議案第31号 平成6年度館山市水道事業特別会計補正予算
（第1号）の専決処分の承認について

議案第32号 館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する
条例の一部を改正する条例の制定について

議案第33号 館山市身体障害者ホームヘルプサービス事業に
関する条例の一部を改正する条例の制定につい
て

議案第34号 館山市老人ホームヘルプサービス事業に関する
条例の一部を改正する条例の制定について

議案第35号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例
の制定について

議案第36号 工事請負契約の締結について

議案第37号 平成6年度館山市一般会計補正予算（第1号）

議案第38号 平成6年度館山市国民健康保険特別会計補正予
算（第2号）

日程第4 } 議案第39号 平成6年度館山市下水道事業特別会計補正予算
（第1号）

認定第 1号 平成5年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定

について

- 認定第 2 号 平成 5 年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 3 号 平成 5 年度館山市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 4 号 平成 5 年度館山市ユースホステル特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 5 号 平成 5 年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 6 号 平成 5 年度館山市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 7 号 平成 5 年度館山市水道事業特別会計収支決算の認定について
- 認定第 8 号 平成 5 年度館山市国民宿舎事業特別会計収支決算の認定について

開 会 午前 10 時 02 分

◎議長（辻田 実君） 本日の出席議員数23名、これより平成6年第3回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

◎議長（辻田 実君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第 121条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので、御了承願います。

なお、市長から地方自治法第 180条の規定による専決処分、監査委員から 6月及び7月実施の監査結果が報告されております。それぞれお手元に配付の印刷書により御了承を願います。

議案の配付

◎議長（辻田 実君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたします。

配付漏れはございませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

◎議長（辻田 実君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

5番議員宮沢治海さん、21番議員神田守隆さん、以上兩名を指名いたします。

会期の決定

◎議長（辻田 実君） 日程第2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき、議会運営委員会の意見は本9月9日から9月28日までの20日間ということであります。

お諮りいたします。会期を20日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、会期は9月9日から9月28日までの20日間と決定いたしました。

会議日程の決定

◎議長（辻田 実君） 日程第3、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付の会議日程表は本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営委員会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間、議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして、大体このようにいたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、会議日程は決定い

たしました。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第4、議案第31号乃至議案第39号及び認定第1号乃至認定第8号の各議案を一括して議題といたします。

提案理由の説明

◎議長（辻田 実君） これより各議案に対する提案理由の説明を求めます。
庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 本日ここに第3回市議会定例会を招集し、当面する諸案件について御審議をお願いすることといたしました。議員の皆様方には御多用のところ御出席をいただき、ありがとうございます。

今回提案いたします案件は、条例議案4件、一般議案1件、補正予算4件及び認定8件でございます。

以下、その概要について御説明申し上げます。

まず、議案第31号平成6年度館山市水道事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分の承認についてでございますが、平成6年8月17日に水道事業特別会計補正予算を地方自治法第179条第1項の規定により専決処分いたしましたので、議会に報告し、その承認を求めようとするものでございます。

専決処分の内容でございますが、本年は降水量が異常に少なく、ダムの貯水量が減少し、水道用水の安定供給が困難になることが予測されましたことから、この事態に対処するため、緊急取水の仮設工事費といたしまして2,794万余円、その他の経費183万余円、総額2,977万余円の予算措置をしたものでございます。

次に、議案第32号館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、地域住民の学習、集会等の公共的利用に供し、社会教育活動の推進を目的に、本年11月に中央地区学習等供用施設（愛称 菜の花ホール）を開館する予定でございますので、こ

の施設につきまして円滑な管理運営を図るために、その名称、位置及び使用料の額について本条例中に規定しようとするものでございます。

次に、議案第33号館山市身体障害者ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について及び議案第34号館山市老人ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、今回国の要綱が改正され、ホームヘルパーを利用する場合の1時間当たり費用の負担額が改められましたので、館山市におきましても同様に改正し、本年10月1日から施行しようとするものでございます。

改正内容といたしましては、利用者世帯のG階層の1時間当たり費用の負担額を改めようとするものでございます。

次に、議案第35号館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、今回国民健康保険法の一部改正に伴い、助産費にかえて出産育児一時金が創設されましたので、現行の助産費24万円を出産育児一時金として30万円に引き上げるほか、所要の改正をしようとするものでございます。

なお、出産育児一時金につきましては、本年10月1日から施行しようとするものでございます。

次に、議案第36号工事請負契約の締結についてでございますが、館山市立房南中学校校舎等改築工事に係る一般競争入札の結果、日産建設株式会社千葉営業所が8億340万円をもって落札しましたので、同社と工事請負契約の締結をしようとするものでございます。

工事内容といたしましては、鉄筋コンクリートづくり2階建て、延べ面積3,473平方メートルで、校舎及び附属棟を改築しようとするもので、工期を翌年8月30日までとするものでございます。

次に、議案第37号平成6年度館山市一般会計補正予算（第1号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ2億1,185万8,000円を追加し、総額161億9,185万8,000円としようとするものでございます。

歳出の主な内容といたしましては、民生費では、国民健康保険法の一部改

正に伴い、国民健康保険特別会計への繰出金で 767万 8,000円、ショートステイ措置扶助費で 1,671万 1,000円、ミドルステイ措置扶助費で 465万 6,000円、これらは利用人員の増によるものでございます。農林水産業費では、特用林産生産近代化促進対策事業補助金で46万 2,000円、土木費では、道路改良舗装工事請負費で 8,827万 8,000円、都市計画道路景観設計委託料で 920万円、複合リゾートカントリー整備計画調査委託料で 2,300万円、また、事業費の追加に伴い、下水道事業特別会計への繰出金で 1,374万 6,000円、消防費では、防火水槽建設工事請負費で 1,287万 9,000円、これは主要地方道富津一館山線改良工事に伴うものでございます。教育費では、多目的運動広場整地等工事請負費で 3,900万円でございます。

以上、歳出の主な内容について御説明申し上げましたが、歳入におきましては、市民税個人分につきまして特別減税が実施されたことにより、2億 6,057万円を減額しようとするものでございます。

これらの財源といたしまして、国庫支出金、県支出金及び市債等の特定財源 4,182万 8,000円、減税補てん債等一般財源 4億 3,060万円をもって充当しようとするものでございます。

また、減税補てん債等につきまして、地方債の補正をお願いするものでございます。

次に、議案第38号平成6年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ 360万 2,000円を追加し、総額34億 9,373万 3,000円としようとするものでございます。

歳出の主な内容といたしましては、国民健康保険法の一部改正により、新たに創設される出産育児一時金で 1,800万円を増額し、廃止される助産費で 1,440万円の減額をしようとするものでございます。

また、歳入におきましては、国庫支出金の事務費負担金で補助対象経費の一部が一般財源化されたことにより、527万 8,000円を減額しようとするものでございます。

これらの財源といたしまして、一般会計からの繰入金及び前年度繰越金を

もって充当しようとするものでございます。

次に、議案第39号平成6年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第1号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ3億120万6,000円を追加し、総額26億442万7,000円としようとするものでございます。

歳出の主な内容といたしましては、終末処理場建設工事委託料で1億6,200万円、污水管渠築造工事委託料で1億2,500万円、污水管渠設計等委託料で1,321万6,000円をそれぞれ追加しようとするものでございます。

以上の財源といたしまして、国庫支出金、県支出金及び市債の特定財源で2億8,746万円、一般会計からの繰入金1,374万6,000円をもって充当しようとするものでございます。

次に、認定第1号乃至認定第8号の諸案件は、いずれも平成5年度館山市一般会計ほか7特別会計の歳入歳出決算の認定につきまして、地方自治法等の規定に基づき監査委員の意見を付して、議会の認定をお願いするものでございます。

まず、平成5年度の概況でございますが、政府は低迷している景気対策として、4月に公共事業等の施行促進などを内容とする総合的な経済対策を、9月には規制緩和等の推進、円高差益の還元、社会資本の整備などを内容とする緊急経済対策を、さらに平成6年2月には所得税、住民税減税などを内容とする総合経済対策を決定し、その円滑な実施を図るなど、適切かつ機動的な経済運営に努めてきたところでございます。

一方、地方財政は、近年中期的な健全化のための措置が講じられてきたものの、借入金残高は累増しており、これらの償還は地方財政の将来にとって大きな負担となるもので、極めて厳しい状況にあります。

このような状況の中、高齢化社会、生活関連社会資本の整備、自主的、主体的な地域づくりへの対応等、現下の重要政策を推進していく上で、地方団体はますます大きな役割を担うよう求められております。

したがいまして、地方財政が累積した多額の借入金の償還に対応できる健全な財政構造を確立し、国民の要請にこたえてその機能を適切に果たしてい

くためには、国、地方を通じる徹底した行政改革を積極的に推進して、行政経費の節減合理化を基本としつつ、同時に地方団体の創造性、自主性を高め、積極的な施策の展開が可能となるよう、長期的な観点に立って地方財源の充実を図っていく必要があります。

平成5年度の地方財政の運営に当たりましては、このような見地に立って、税収入の確保、受益者負担の適正化等財源の確保に努めるとともに、各種施策の優先順位につきまして厳しい選択を行い、財源の計画的、重点的な配分に徹することとして、経済の動向に即応した機動的、弾力的な運営にも配慮し、節度ある財政運営を行うことが要請されました。

館山市におきましては、このような国及び地方を取り巻く厳しい財政環境の中で、常に既存の事務事業の見直しを行うとともに、税収入の確保、地方交付税措置のある地方債の借り入れ等、財政構造の弾力性の確保を基本に計画的な財政運営に努めてきたところでございます。具体的な予算の執行に当たりましては、市の基本構想で定めました将来都市像「活力ある文化福祉都市」の実現に向け、施策の緊急性、真に必要な施策の検討など優先順位の厳しい選択の中で、都市基盤整備、産業振興、生活関連施設の整備、福祉の向上、教育文化、スポーツの振興を計画的に推進し、市民生活の安定向上に努めてまいりました。

この結果、一般会計におきましては、歳入総額 163億 5,928万余円で、対前年度比13億 4,886万円、9.0%の増、歳出総額 160億 7,907万余円で、対前年度比13億 7,931万余円、9.4%の増となり、歳入歳出差引額は2億 8,021万余円で、翌年度へ繰り越すべき財源として、市道1060号線道路改良事業などに係る繰越額 175万余円を除く実質収支は2億 7,845万余円となっております。

また、特別会計におきましては、運営の合理化、適正化を図りながら、独立採算制の確保に努めました。

国民健康保険会計におきましては医療費が1.7%増加し、老人保健会計の医療費におきましては9.4%の増となっております。なお、実質収支につきましては、国民健康保険会計1億 4,121万余円、老人保健会計2,524万余円

となっております。また、ユースホステル会計及び学童災害共済事業会計の実質収支につきましては、それぞれ 106万余円、129万余円となっております。

下水道事業会計におきましては、公共下水道の早期供用開始を図るため、終末処理場に係る用地購入、詳細設計及び環境影響調査を実施いたしました。また、汚水管渠築造工事に係る測量、地質調査及び実施設計を第1期事業区域の一部地域について実施いたしました。この結果、歳入総額11億 1,976万余円、歳出総額11億 1,966万余円、歳入歳出差引額は10万円となりますが、これは繰越明許費により翌年度へ繰り越す財源でございます。

水道事業会計におきましては、配水管の新設、老朽配水管の布設替え工事を施行し、配水能力の向上等既存施設の整備拡充に努めるとともに、第3次拡張事業として、出野尾配水場築造工事のほか、館野、九重地区の国道128号等に配水管布設工事を施行いたしました。

この結果、収益的収支につきましては 3,028万余円の純利益を生じましたが、資本的収支につきましては 3,595万余円の不足が生じ、減債積立金で補てんすることいたしました。

国民宿舎事業会計におきましては、宿泊料金等の改定を行い、収益的収支につきましては 423万余円の純利益を生じましたが、資本的収支につきましては 1,521万余円の不足が生じたため、当年度分損益勘定留保資金等をもって補てんいたしました。

以上、平成5年度の決算につきましてその概要を申し上げましたが、個々の施策につきましては、決算に係る主要な施策の成果に関する報告及び歳入歳出決算事項別明細書等により御了承賜りたいと存じます。

以上、各議案に対する提案理由について御説明申し上げますが、この会期中、追加議案といたしまして、人権擁護委員候補者の推薦について市議会の同意を得たく、上程をお願いする予定でございます。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

◎議長（辻田 実君） 以上で提案理由の説明を終わります。

延 会 午前10時28分

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明10日及び11日は議案調査のため休会、次会は9月12日午前10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

◎本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定
- 1 会議日程の決定
- 1 議案第31号乃至議案第39号
- 1 認定第1号乃至認定第8号